

山城井  
常磐井  
少將井  
石井  
鴨井  
松井  
半井  
野井  
醒井  
激井

垂の水はかはらにけり。田中井戸、紀州山吹堤井の水をたまつないものたてよ。みなか井備  
れるかげぞ年をへにける。つ。山邊のみ井伊勢神のい。増井丹波涼しさをまする。清結真間井下總  
ながらの山の井近江八雲御説。山井山城三條坊門北京極西又奥州同名有昔ながらのむすぶ手のしづくにごるの歌是なれ  
り。山邊のみ井伊勢神のい。乙女らに先かよひくる。万代の秋、結真間井のぬみれば立ならし水  
跡をぐみけん。松井びつ中或云丹波。ことをはなる。松井の水をむ。飛鳥井山城みまくさがくれ、いく  
條む在所は二。あさりのいは井奥州懸井戸一條北東洞院西角又號三井戸天橋立井山城六條南室  
万里小路。蛭山ぶきこなき杜若藤。天橋立井山城輔親卿宅是宗町。  
祇法佐良玄井の絶すかよはんそにつまもる。雪蟬このもとさめが井世の夢水。益井下總に  
師注。佐良玄井の國みくるすのなかにむかへるさらしる。さくら井未勘埴科石井信濃湯津留波御井大和  
づきのゐにかげをみるかな。さくら井未勘埴科石井信濃湯津留波御井大和。いにしへにこ  
まわたりつ。時鳥三吉野山井同右又云吉野山井共云つらむや。みやこ井信濃三井城寺心の園  
まわたりつ。時鳥三吉野山井同右又云吉野山井共云つらむや。みやこ井信濃三井城寺心の園  
そこにはみ滋野井中御門北芝付田井花瀧。榎葉井大和豐浦せか井山ある大原八雲せきのい  
まざる月。西洞院西芝付田井花瀧。榎葉井大和豐浦せか井山ある大原八雲せきのい  
は井ふさみ是也。あふか歟。

〔雍州府志八古蹟〕愛宕郡略中常盤井。在大德寺之南船岡山東田間。相傳北。京有九井。所謂常  
盤井。縣井。石井。少將井。鴨井。松井。滋野井。飛鳥井等是也。

〔雍州府志八古蹟〕愛宕郡略中常盤井。在西洞院一條北。古常盤井相國實氏公之第宅在斯處。  
井水今猶存而水至清矣。凡常盤井在三處。第一斯處。第二飛鳥井殿町。第三船岡山東田間。各常盤井  
相國第宅之地也。未知孰是也。

半井。在烏丸正親町北。相傳古施藥院之所在。而醫家和氣氏住之家內。大井中間以板隔之。半充製  
藥之用。半爲雜用之水。自茲和氣氏有半井之稱號。

醒井。在六條堀河佐目牛通西。此水至清。故茶人專用之。相傳茶人珠光元南都淨家稱名寺之僧也。  
還俗後來住此所。慈昭相公專嗜茶。故時々有來臨。珠光以此水點茶而獻之。今井垣石織田有樂齋改築之者也。建仁寺古澗長老作記以雕石。今猶存。按醒井誤佐目牛者乎。